

# 取扱説明書

## フレームシャッター (DC12V/ソーラー)

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

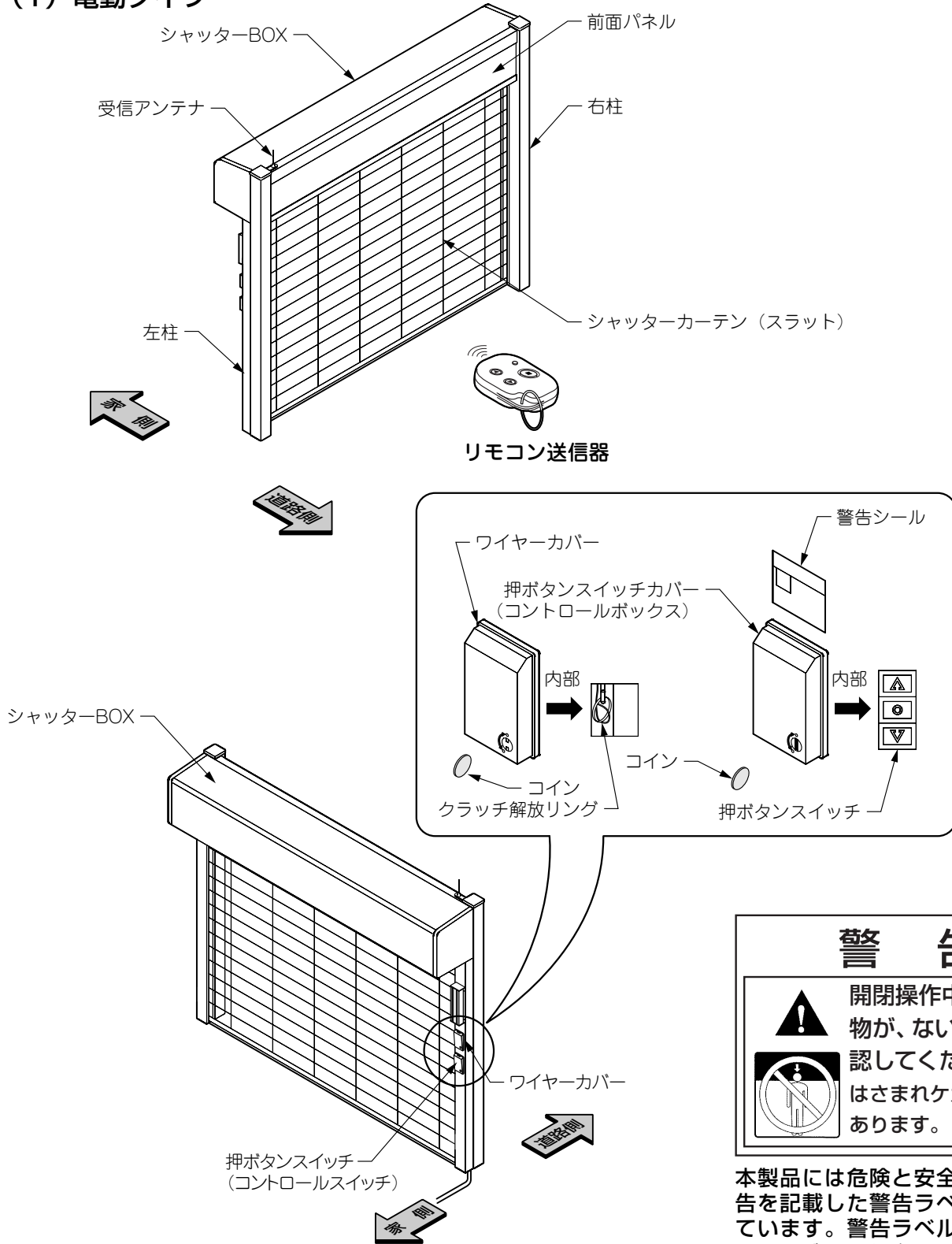
### もくじ

1.各部の名称	1
2.安全のために必ず守ってください	2
3.使用方法	4
3-1 コントロールボックスの名称およびはたらき	4
3-2 リモコン送信機の登録方法	5
3-3 リモコン送信機の追加登録方法 (リモコン送信器を増やすとき)	6
3-4 リモコン送信機の操作方法	7
3-5 押ボタンスイッチでの操作方法	8
3-6 電動で動かせない時の操作方法	8
3-7 ご注意とお願い	9
3-8 電池の交換方法	10
4.お手入れについて	11
5.修理を依頼する前に	12
6.仕様	13

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

# 1 各部の名称

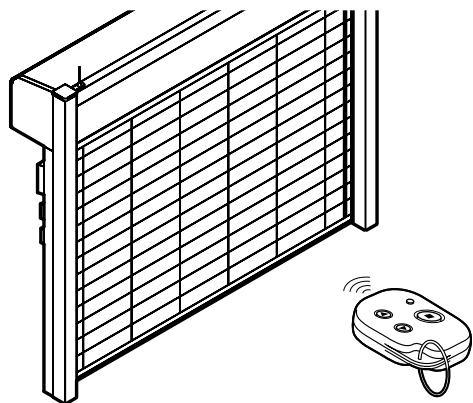
## (1) 電動タイプ



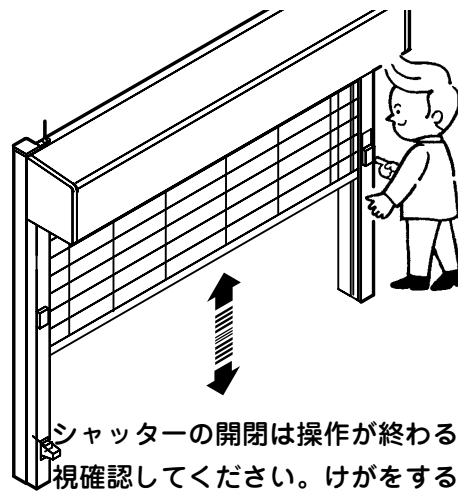
### ご注意

- ソーラー電源については、フレームシャッター(ソーラー電源セット)UD046をご参照ください。

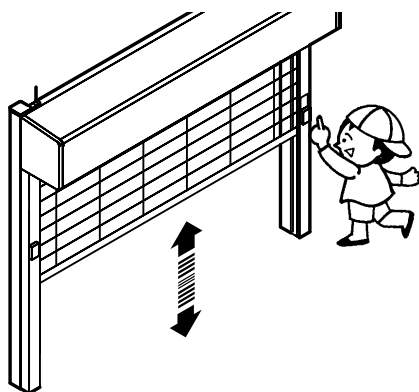
## 2 安全のために必ず守ってください



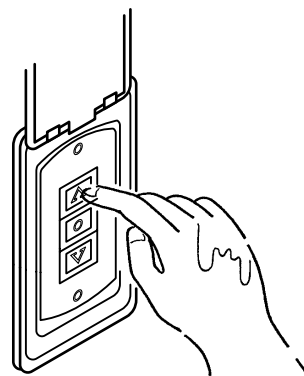
リモコン送信器を使用する場合必ずシャッターカーテンが見える位置で周囲に人や車がないことを確認してから操作し、またお子様にはご注意ください。けがをするおそれがあります。



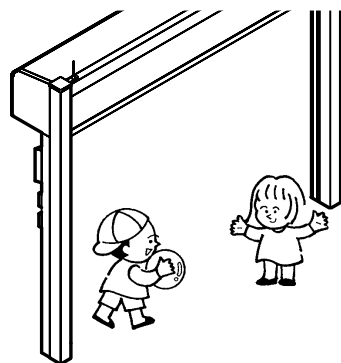
シャッターの開閉は操作が終わるまで必ず目視確認してください。けがをするおそれがあります。



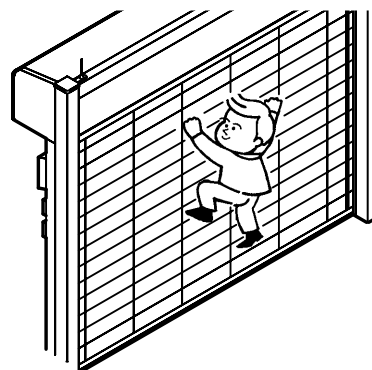
お子様には、押しボタンを操作させないでください。けがをするおそれがあります。



ぬれた手で操作をしないでください。感電するおそれがあります。

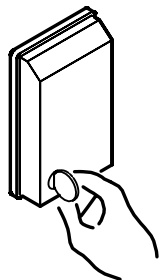


シャッターカーテンの下などでは、お子様を遊ばせないでください。けがをするおそれがあります。

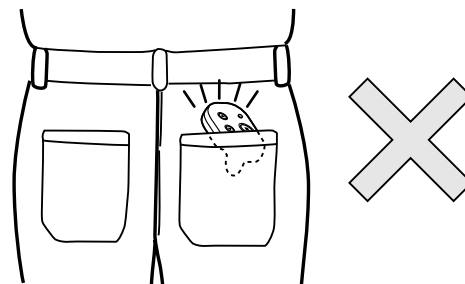


開閉中のシャッターカーテンにぶらさがったり、手で抑えたりしないでください。けがをするおそれがあります。

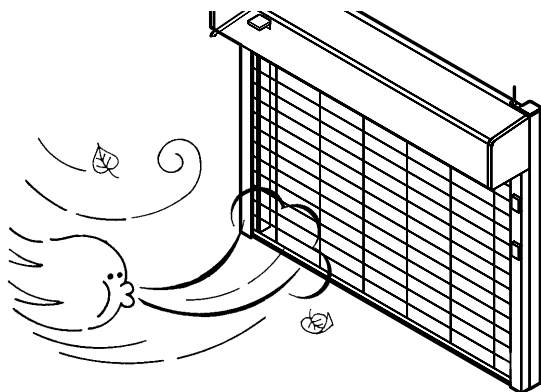
## 2 つづき



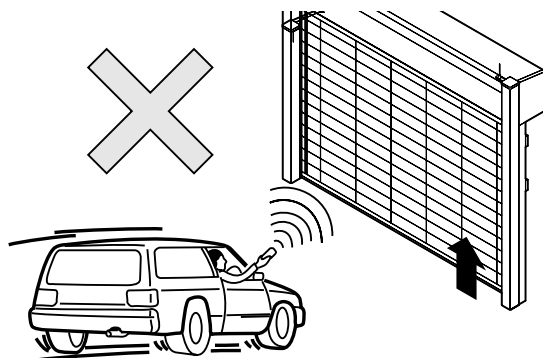
押しボタンスイッチを使用しない場合は、コインまたはドライバー等で鍵をかけてください。



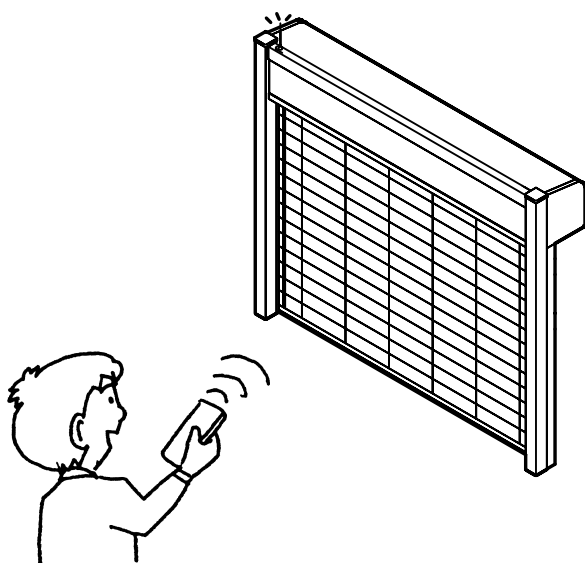
お尻のポケットには絶対に送信器を入れないでください。送信器が破損してけがをするおそれがあります。



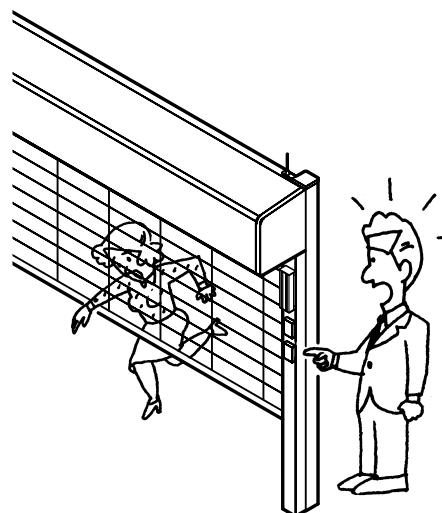
台風などの強風時にはシャッターを容易に動かさないでください。シャッターが壊れてけがをするおそれがあります。



車を運転しながら操作しないでください。シャッターは、必ず見える位置から操作してください。シャッターの下に人がいたり物があつた場合、挟まれてけがをするおそれがあります。



お子様にはリモコンを操作させないでください。けがをするおそれがあります。

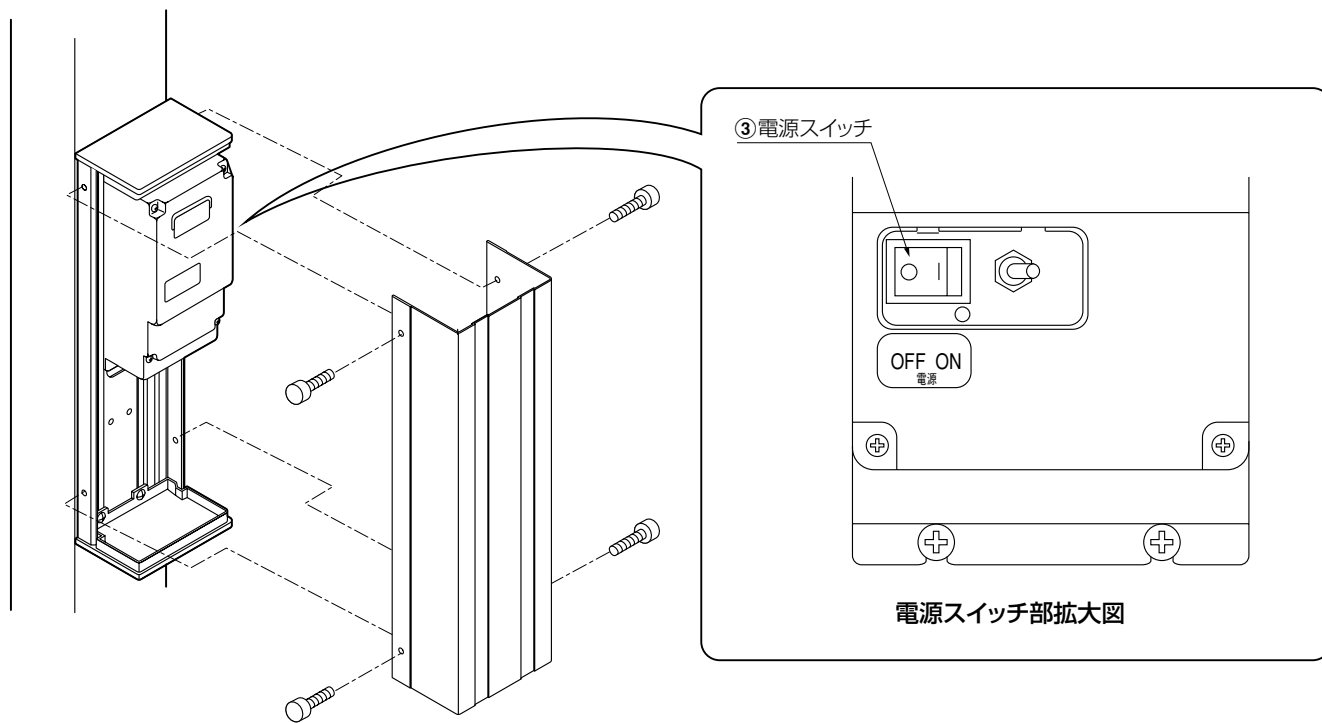


シャッター開閉中はパイプのあいだに手や腕を差し込まないでください。けがをするおそれがあります。

# 3 使用方法

## 3-1 コントロールボックスの名称およびはたらき

コントロールボックス内の各スイッチ設定時のはたらきをご確認ください。



①リモコン受信器操作部  
②電源スイッチ部

カバー(透明)

操作するときは、カバーをはずしてください  
操作後は、必ずカバーをはめてください

	名 称	はたらき
①	リモコン受信器操作部	リモコン送信器を登録・抹消するときに使用します。
③	電源スイッチ	電動支柱の主電源を「ON/OFF」させるスイッチです。 「OFF」にするとすべてのコントロール機能が停止します。

### ご注意

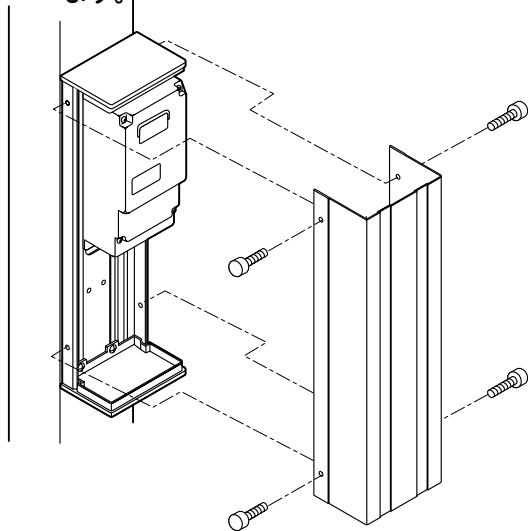
- コントロールボックス内の配線にはふれないでください。感電するおそれがあります。

## 3-2

# リモコン送信器の登録方法

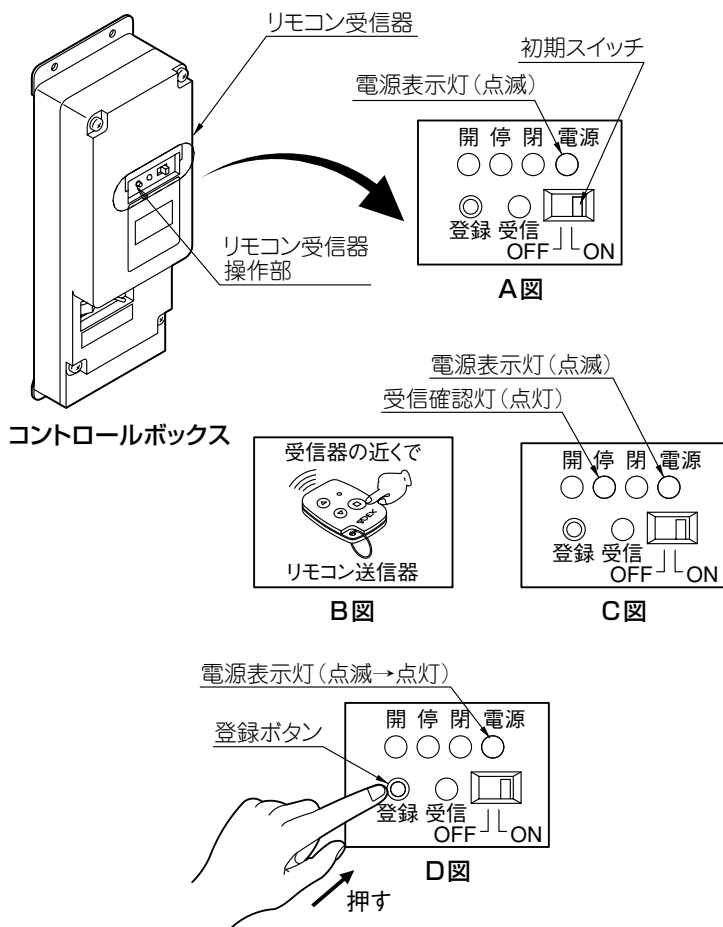
リモコン送信器で操作する場合は、リモコン受信器に登録をしてください。

リモコン送信器は、コイン型リチウム電池 (CR2032) を1個使用します。出荷時、電池は送信器に内蔵しています。



次の手順で登録してください。

- ① 左柱のコントロールカバーをはずします。  
・ネジ4本をはずし、コントロールボックスカバーを手前に引っ張るようにしてはずします。



- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」にします。  
・電源表示灯が点滅 (緑色) します。(A図参照)  
・点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にし、もう一度「ON」側にします。
- ③ リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。(B図参照)  
・リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯 (赤色) し送信器登録が完了します。(C図参照)
- ④ リモコン受信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ちます。(D図参照)  
・電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。

- ⑤ 左柱のコントロールボックスカバーを取付けます。  
・ネジ4本で取付けます、ネジの締め忘れのないように注意してください。

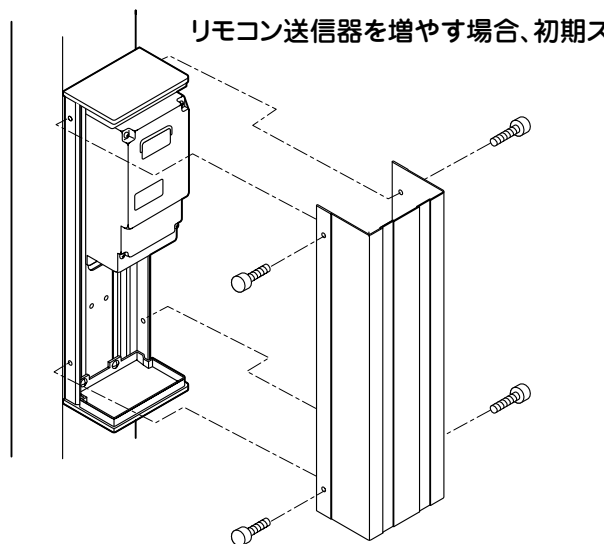
### ご注意

- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。
- 初期スイッチを「OFF」にすると、リモコン送信器の登録がすべて抹消されます。登録が抹消された場合、リモコン送信器での操作はできなくなります。

### 3-3 リモコン送信器の追加登録方法（リモコン送信器を増やすとき）

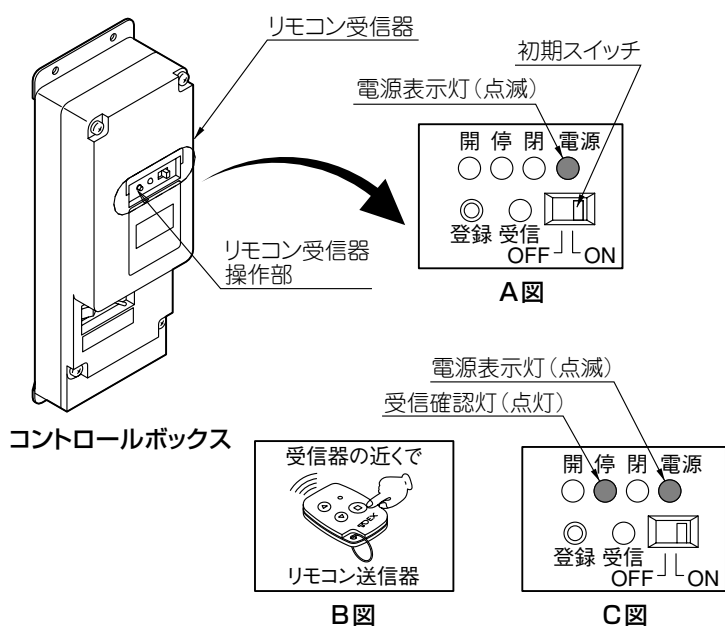
別売り品で複数のリモコン送信器（KYZ77）をお求め頂いたお客様は追加登録してください。  
リモコン送信器1台につきリモコン送信器16台まで登録可能です。

リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは「ON」の状態に登録してください。



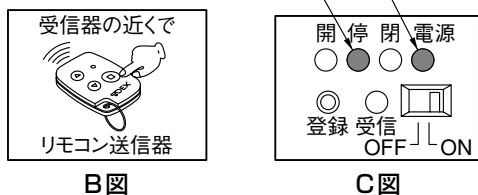
次の手順で追加登録してください。

- ①左柱のコントロールカバーをはずします。  
・ネジ4本をはずし、コントロールボックスカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずします。

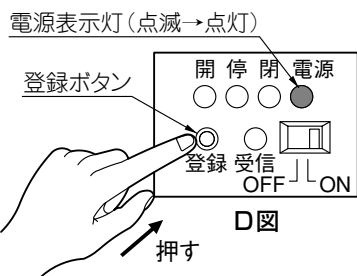


- ②リモコン受信器の登録ボタンを押します（A図参照）。  
・電源表示灯が点滅（緑色）します。（A図参照）  
・リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。

- ③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。（B図参照）  
・リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯（赤色）し送信器登録が完了します。（C図参照）



- ④リモコン受信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ちます。（D図参照）  
・電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。



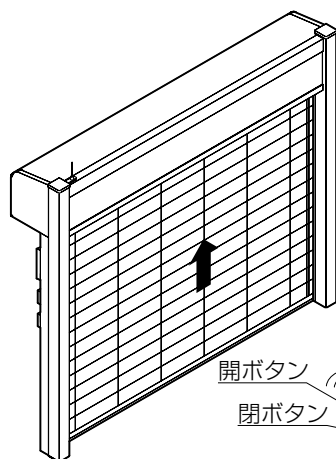
- ⑤左柱のコントロールボックスカバーを取付けます。  
・ネジ4本で取付けます、ネジの締め忘れのないように注意してください。

#### ご注意

- リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは絶対に動かさないでください（「ON」側のままで固定）。「OFF」にすると、登録がすべて抹消され、リモコン送信器での操作はできなくなります。
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。

## 3-4 リモコン送信器の操作方法

別売り品で複数のリモコン送信器(KYZ77)をお求め頂いたお客様は追加登録してください。  
リモコン送信器1台につきリモコン送信器16台まで登録可能です。



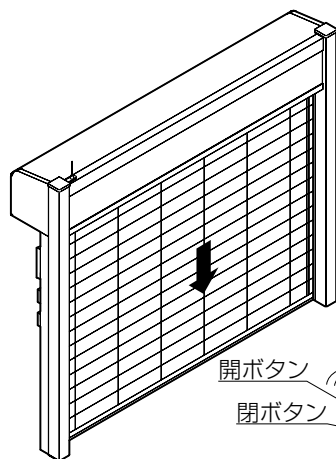
リモコン送信器

### (1) シャッターを開ける時

「開」ボタンを1回押し2秒以内にもう1回押します(ダブルクリック)動作表示灯が「点滅」し送信され、扉は自動的に開きます。

#### ご注意

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。



リモコン送信器

### (2) シャッターを閉める時

「閉」ボタンを1回押し2秒以内にもう1回押します(ダブルクリック)動作表示灯が「点滅」し送信され、扉は自動的に閉まります。

#### ご注意

- 動作途中で停止するときは「停止」ボタンを押します。

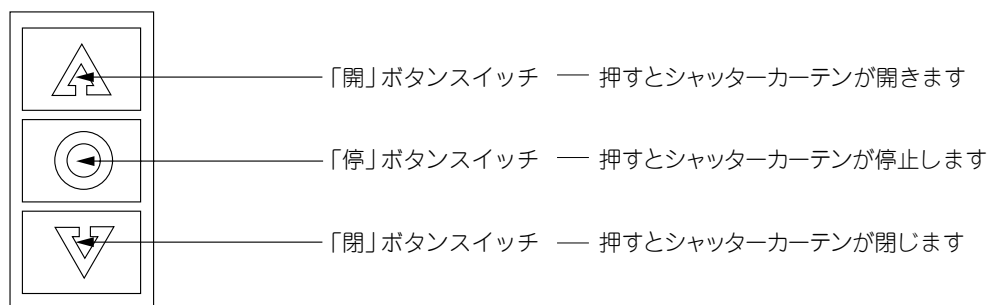
#### ご注意

- 「開または閉」ボタンを押す間隔が2秒を越えると送信されませんのでご注意ください。
- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作してください。  
ただし次の場合、リモコン送信器の到達距離が短くなることがあります。
  - テレビ・ラジオの送信所や高圧電圧設備、送電線等の諸電界地域の場合
  - 送信器と受信器の間に金属や鉄筋コンクリートなど障壁がある場合
  - 移動中又は閉めきった車内から送信した場合
- 電波の送受信を良くするために、次の内容に注意して操作してください。
  - 送信器の電波発信面をアンテナに向けて操作してください。
  - 車内から操作する時は、送信器はできるだけフロントガラスに近づけて操作してください。
  - 遠くから送信する場合は、窓の外に送信器を出して操作してください。
- 開閉動作中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。
- 安全上「停止」ボタンに限り1回押すだけで送信されるようになっています。



## 3-5 押ボタンスイッチでの操作方法

左柱の押ボタンスイッチを押して開閉、停止させてください。



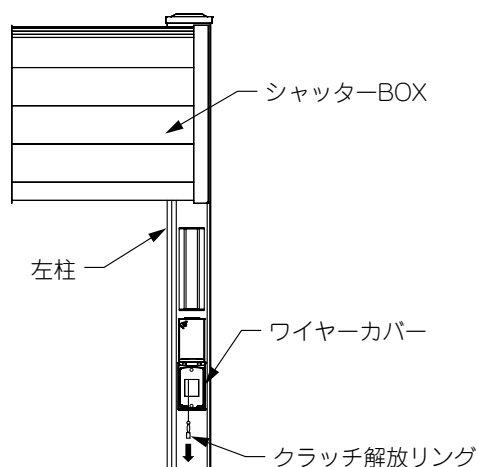
押ボタンスイッチ

## 3-6 電動で動かせない時の操作方法

停電時など電動で動かせないときは手動で動かすことができます。

### (1) フレームシャッターの操作方法

シャッター左柱側のシャッターBOX下部にあるワイヤーカバー内のクラッチ解放リングで切替えをしてください。



#### ① 電動から手動への切替え方法

クラッチ解放リングを約4cm程強く下に引くと手動に切替わり、シャッターカーテンを上下させる事で開閉します。

#### ② 手動から電動への切替え方法

クラッチ解放リングを約2cm程軽く下に引くと電動に切り替わります。

## 3-7

## ご注意とお願い

### (1) リモコン送信器

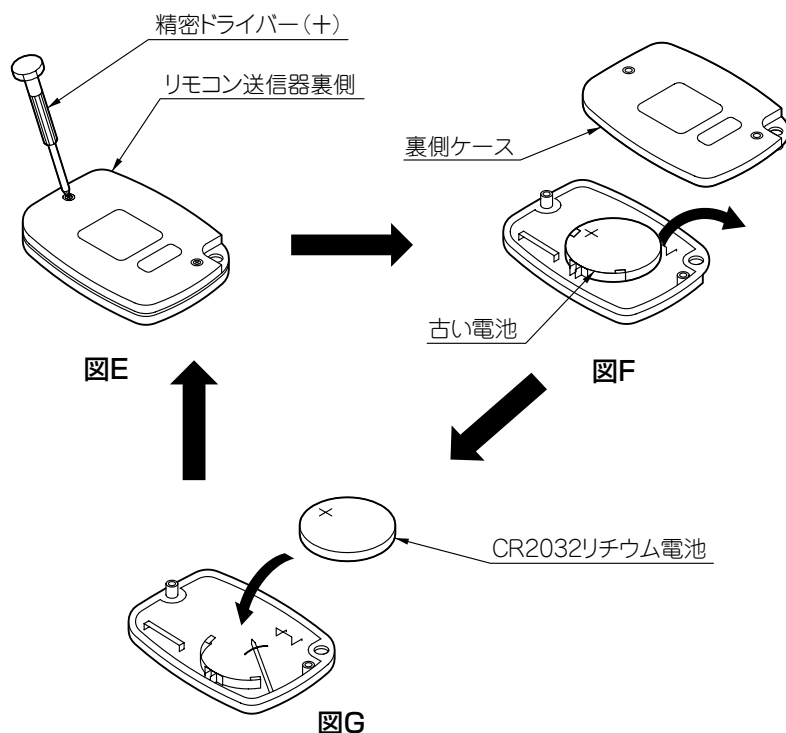
- 上昇中（下降中）のシャッターを反転下降（上昇）させる場合は、必ず「停」スイッチを押し一旦シャッターを停止させてから「開」（「閉」）スイッチを押してください。
- 送信器は電子機器です。雨に濡らしたり湿気の多い所での使用はさけてください。
- 送信器を投げたり落としたり激しい衝撃を加えるような乱暴な扱いはしないでください。
- 送信器は夏は炎天下の車内等に放置しないでください。
- 送信器は長時間ご使用にならない場合は腐食防止の為乾電池を抜いてください。
- お尻のポケットには絶対に送信器を入れないでください。送信器が破損するおそれがあります。

### (2) 電動で使用するとき

- 電動で使用する時、手では開閉できませんのでむりに力を加えないでください。故障の原因になります。
- シャッターカーテン・左右柱・シャッターレール・前面パネル等の改造は、絶対にしないでください。
- シャッター付近で、火気は使用しないでください。柱やシャッターカーテンの変形・変質の原因になります。
- 台風などの強風時にはシャッターを容易に動かさないでください。シャッターが壊れるおそれがあります。

## 3-8 電池の交換方法

リモコン到達距離が短くなったり、動作表示灯が点滅しなくなるなどの兆候があった場合は、速やかに新しい「リチウム電池CR2032」とお取り替えください。



- ① リモコン送信器の裏側のネジ(2箇所)を精密ドライバー等ではずしてください。(図E参照)
- ② リモコン送信器の裏側のケースをはずし古い電池を取り出してください。(図F参照)
- ③ 新しい電池を「+マーク」が見える向き(上側)にはめ込んでください。(図G参照)
- ④ はずしたケースを取付けてください。(図E参照)

### ご注意

- 電池の極性「+、-」を確認の上セットしてください。
- 電池交換の際は、水分やほこり等が入らないようにご注意ください。また、回路部に触れぬようご注意ください。
- 電池の寿命は、1日10回(開・閉・停いづれか1操作/回)の使用で約5年です。送信中、送信表示灯が暗くなりましたら新しい電池に交換してください。
- 電池を交換する時に新旧乾電池の混用はしないでください。
- 電池を交換する時にCR2032型リチウム電池は正しい向き(+、-方向)に入れてください。

# 4 お手入れについて

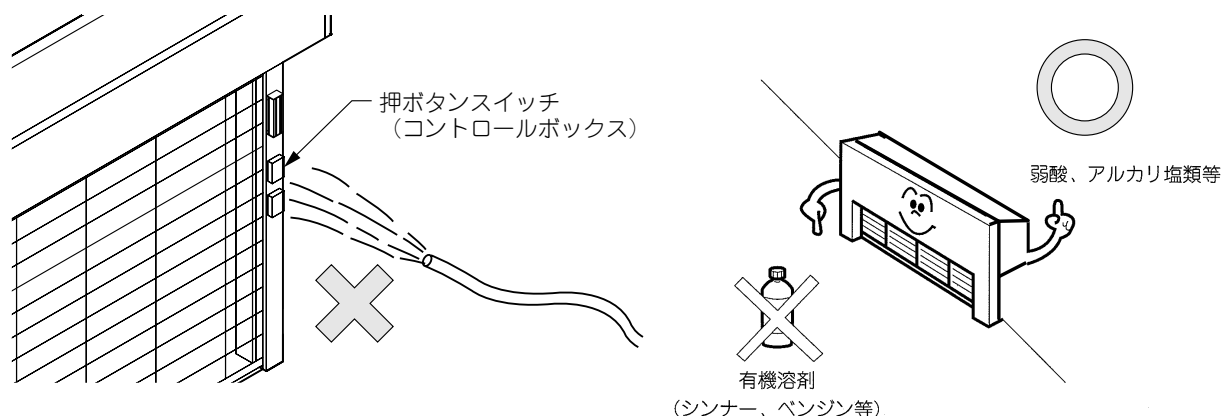
## (1) スラットのお手入れについて

下の表を目安に清掃をしてください。

(1年あたりの回数)

材質	環境				備考
	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯	
スチールスラット (塗装品)	1~4	1~3	0.5~2	0.5~1	
ステンレススラット (素地)	10~20	6~10	4~8	2~4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステンレス材はスチール材同様サビにくい材料ですが、絶対サビない材料ではありません。しかも、通常はステンレス材は素地のまま(塗装なし)で使用しますので、清掃も頻繁に必要です。</li> <li>●なお、初期のサビであれば中性洗剤をうすめた液で除去できます。</li> <li>●サビがひどい場合は、ステンレス用サビ落としの専用クリーナーを購入してください。また、専用クリーナーは注意書きをよく読んでからご使用ください。</li> </ul>
アルミスラット (クリア塗装)	1~4	1~3	0.5~2	0.5~1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開閉を繰り返すとスラット表面に白いスジ状の跡が発生します。これは、クリア塗装がスラットのこすれにより白い粉になったものですので、ぬれた布等で落とすことができます。</li> </ul>

## (2) 本体のお手入れについて



### ご注意

- コントロールボックスにはホースなどで直接打ち水をしないでください。故障の原因になったり感電したりして、生命にかかわる事故につながる場合があります。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく水洗いをし、かたくしぼった布等で水分をふきとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはがれる場合があります。
- シャッタースラットやシャッターレールの表面にほこり・塩分などがついたまま放置すると、サビが発生する原因になりますので、定期的に清掃してください。

# 5 修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。  
直らなかったときには、修理を依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
電動で作動しない、途中で停止する	電動支柱の電源スイッチがOFFになっていませんか。	電源スイッチをONにしてください。(4ページ参照)
	バッテリーの充電は、十分ですか。(ソーラー仕様の場合)	バッテリーを充電してください。フレームシャッター(ソーラー電源セット) UD046参照
	ソーラーパネルが樹木や建物の陰になっていませんか。(ソーラー仕様の場合)	バッテリーの充電が不十分になりやすいのでソーラーパネルの移設をおすすめします。
	バッテリーの寿命の時期がきていませんか。4~5年が目安です。(ソーラー仕様の場合)	バッテリーを交換してください。フレームシャッター(ソーラー電源セット) UD046参照
	トランス電源ユニットの電源が入っていますか。	トランス電源ユニットの差し込みプラグを防水コンセントに差し込む。
	トランス電源ユニットの出力が「連続ON」になっていますか。	トランス電源ユニットの出力を「連続ON」にする。
	障害物などはありませんか。	障害物を取り除いてください。
スローで動作する	※注 全閉状態以外で電源を一度OFFに していませんか。	扉を全閉状態にしてください。
リモコン送信器の開閉押ボタン スイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか。	「開または閉」ボタンを1回押し2秒以内にもう1回押し。(ダブルクリック) (7ページ参照)
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか。(送信表示灯が点灯していますか。)	新しい電池に交換してください。(10ページ参照)
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか。	必ず0.3秒以上押してください。
	2台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか。	同時に発信しないでください。
	各種無線器、コードレス電話などを同時使用していませんか。	同時使用は避けてください。
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか。	10m以内で操作してください。
	リモコン送信器が受信器に登録されていますか。	リモコン送信器に登録してください。(5、6ページ参照)
	リモコン送信器の初期スイッチをOFFに していませんか。	初期スイッチをOFFにするとリモコン送信器の登録がすべて抹消されリモコン送信器での操作ができなくなります、リモコン送信器を再登録してください。(5、6ページ参照)

## ご注意

- 本製品は、インバータモータにより通常はスロースタート・スローストップします。ただし扉が全閉以外の場所で電源をOFFにし、その後電源をONにすると扉の動作は、スロー動作のままとなります。スロー動作になった場合、必ず一度全閉状態にしてください。一度全閉状態にすると通常の動作にもどります。

## 6 仕様

---

項目	仕様
入力電圧	DC12V
消費電力	7.8VA (動作時平均)
モーター定格出力	10W
開閉時間	約35秒(H21)
操作方法	押しボタンスイッチ・リモコン送信器
リモコン到達距離	10m (周囲の環境で到達距離が短くなる事があります)





## フレームシャッター(DC12V/ソーラー) 保証書

製造No.

保証期間	対象部品	期間(お引渡し日より)
	本体	2ケ年
	但し電装部品	1ケ年
お引渡し日	平成 年 月 日	
お客様	ご住所	
	お名前 様	
	電話 ( )	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。  
※お引渡し日、お客様名、施工店名が不明の場合は、保証し兼ねますので施工店に必要事項を記入していただいで下さい。又本書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

施工店	住所・店名	(印)
	電話 ( )	

東洋エクステリア株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL.(03)3341-5051(代)

### 1. 保証者

東洋エクステリア株式会社(以下当社という)が当該商品の所有者に対して、以下に記載のとおり責任を負う。

### 2. 保証内容及び保証期間

#### 1) 保証の内容

保証期間内に通常の取扱いによって生じた品質不良、性能及び機能の低下について、当社が認定したものは、当社が無償で修理を行なう。

#### 2) 保証期間

当該商品の取付け完了後2年間。(電装部品については1年間)

### 3. 免責事項

保証期間内でも原因が次のような場合は、有償修理となります。

(イ) 環境が特に悪い地域の場所に取り付けられたもの。(例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス等の反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障)。

(ロ) 当社の表示した取り扱い方法(取扱説明書、本体添付ラベルの注意書)から逸脱したもの(例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したアルミ部材等の汚れのお手入れ)。

(ハ) 使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。

(ニ) 施工完了後の移動、移設による損傷または故障。

(ホ) 不可抗力(天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等)により発生したもの。

(ヘ) エクステリア構成材であっても当社供給範囲外のもの(波板等)。

(ト) 本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。

(チ) 土間工事等の外構工事及び電気工事に起因するもの。

(リ) 施工完了後、引渡しまでの管理等の不備によるもの。

(ヌ) 保証書に取り付け年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

(ル) 電池・電球等消耗品の損傷や故障。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましても、お買い上げの施工店又は当社各支店営業所にお問い合わせ下さい。

## 東洋エクステリア株式会社

札幌営業所 011-640-8000(代)

長野営業所 026-263-0861(代)

中国支店 086-478-5533(代)

東北支店 022-246-7510(代)

静岡営業所 054-238-3301(代)

広島営業所 082-849-5660(代)

関東東支店 043-207-8251(代)

中京支店 052-807-5501(代)

九州支店 0943-32-3100(代)

関東西支店 03-3290-8510(代)

関西支店 06-6844-9232(代)

南九州営業所 099-256-8955(代)

お客様相談室

0120-171-705

取説コード

UD045

200103A